

兒こ雷らい也や豪傑譚こうせつたん
 上の卷うわのまき
 第六篇だいろくへん



^13
 3878
 51

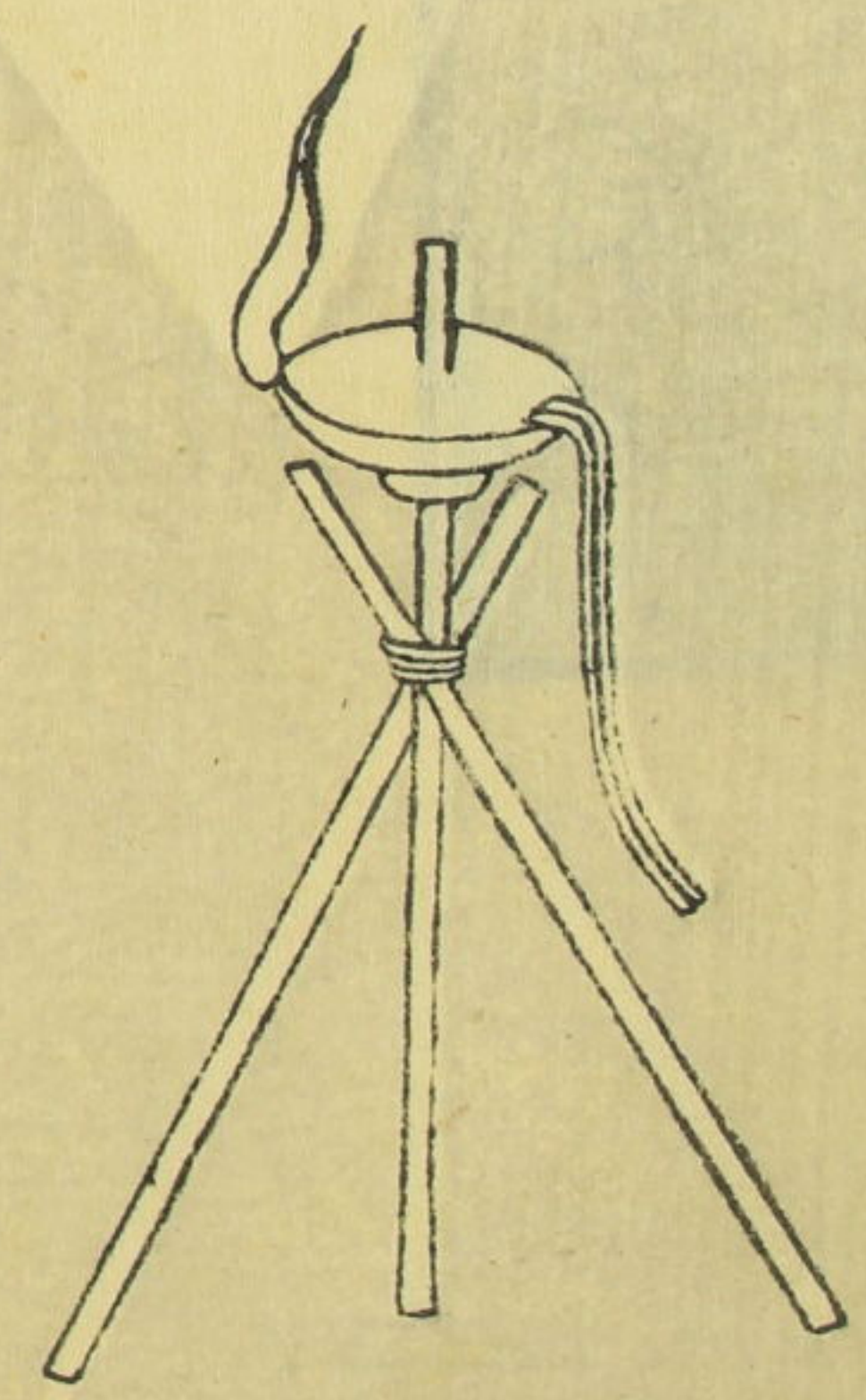


門へ13
 號3878
 卷51

兒雷也
 豪傑譚

上卷

一 柙の亭作
 一 壽壽画



泉市棒

閑人倚柱笑雷公閑人倚柱笑雷公と韓致堯詩ある神のまじりごとみそらもつらもつら
 万葉集万葉集に載る倭歌され漢上の王褒の孝の爲に雷を思ひ 我邦の少部
 栖輕栖輕は勅と蒙る雷を追ふ事跡ら古くる諾樂時代大和の雷丘わ色バ
 越後越後には雷田あり雷谷雷劍ハ奇石の名より雷乾雷汁ハ飲食の内
 其味其味増し因雷鉢摺子木の漢名も亦雷盆雷柅ハ以みめり抑是を
 出宗出宗ハ雷帝と唱へ雷公と申或ハ火雷神と号する 尊稱尊稱ハあるもの
 巨巨ハ大なるをいふ 頗雷譜頗雷譜といふはめけらるも此書初編ハ兒雷也カ
 雷獸雷獸を捕つて話と爰ハ復説りらるバ電光形の篋を模る 雷は
 異称異称ハ序とゆる事ハあり

嘉永乙卯正月 柳下亭種員識

兒雷也七六

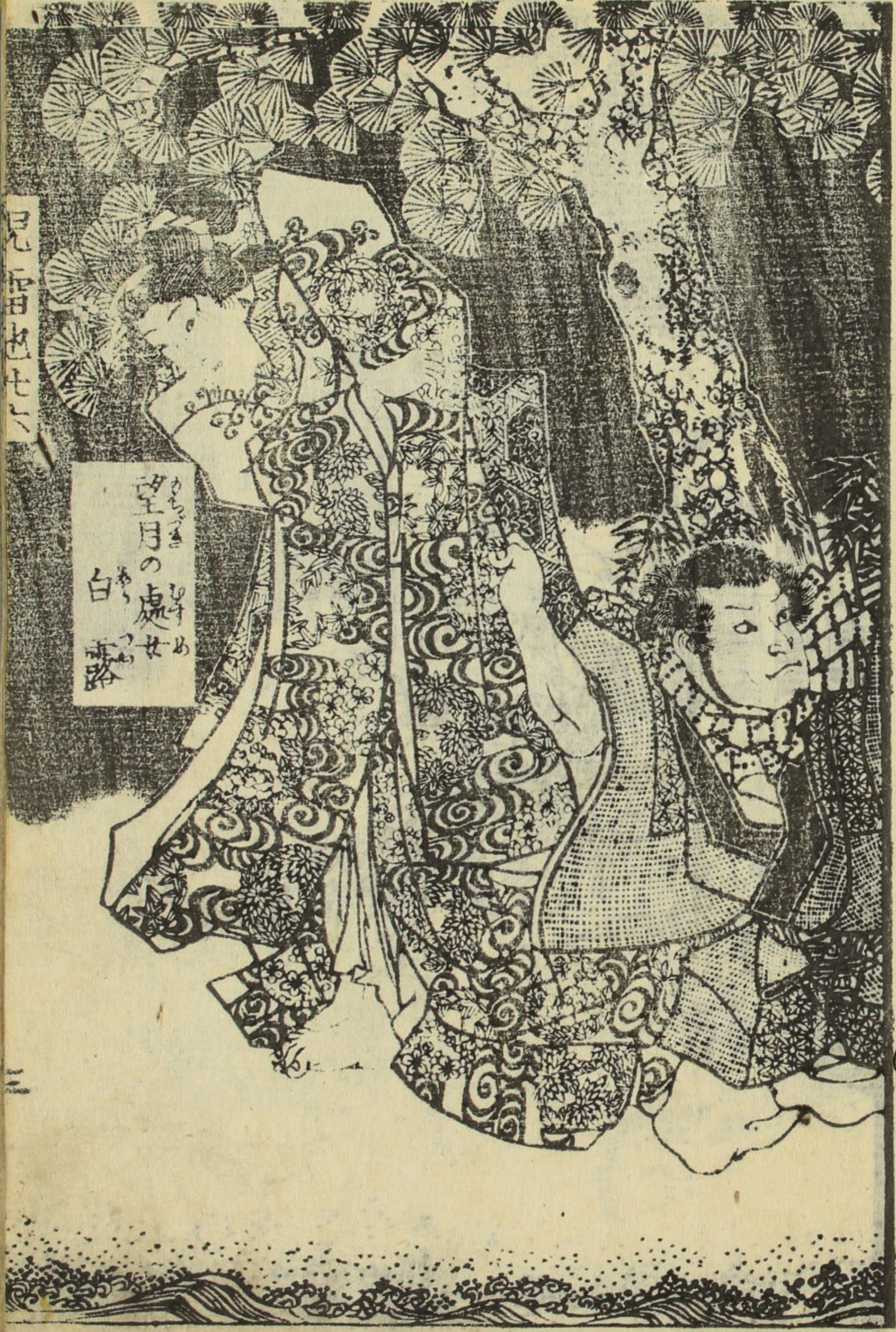


東海道
赤目昌奈
赤目昌奈

赤目昌奈



鶴橋屋
助



見留也七

望月の處女
白露



月影家の
中老関屋

駿河國府中在
草野の張使
非田治





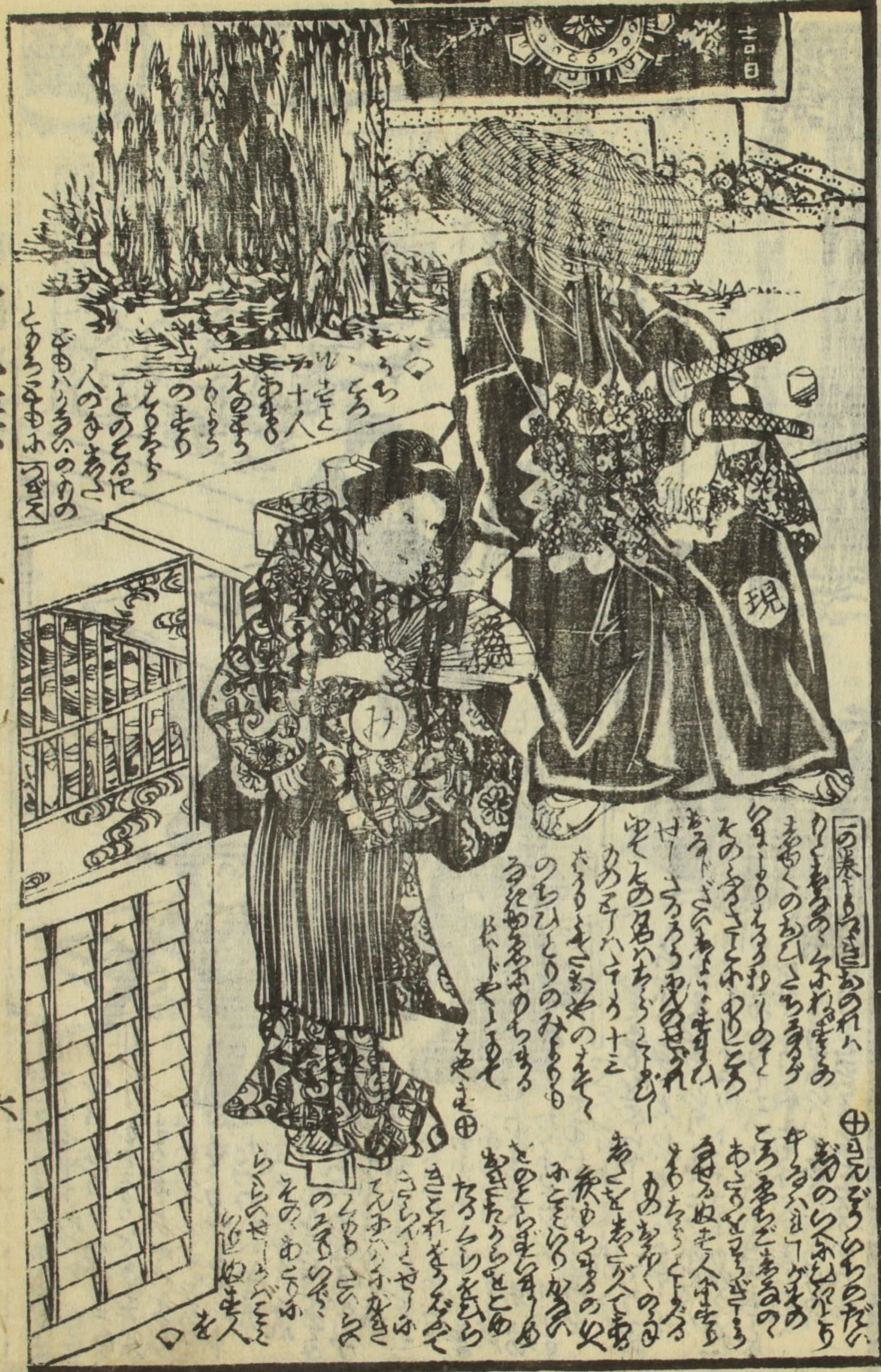
五五五五五

五



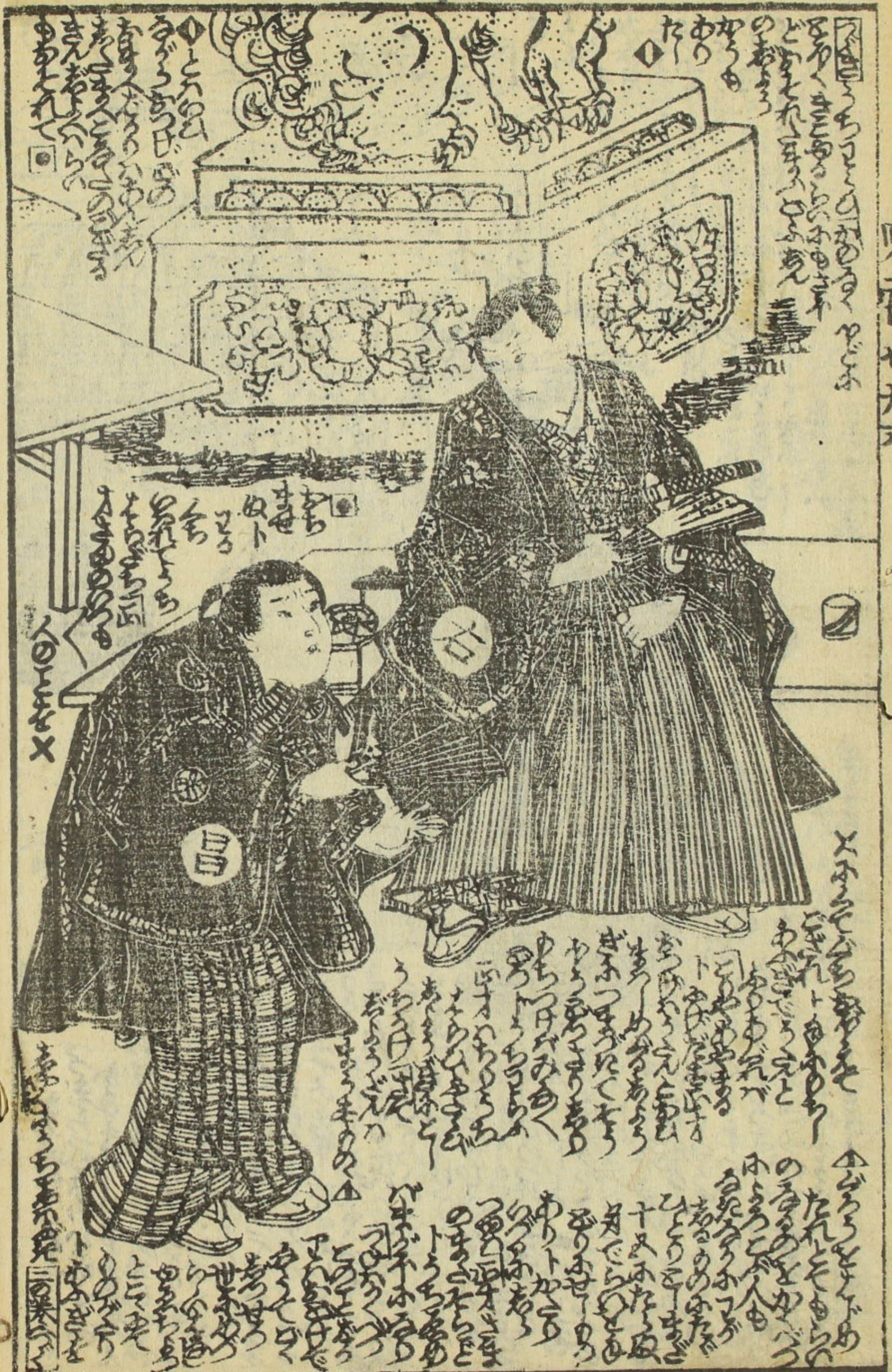
五五五五五

五



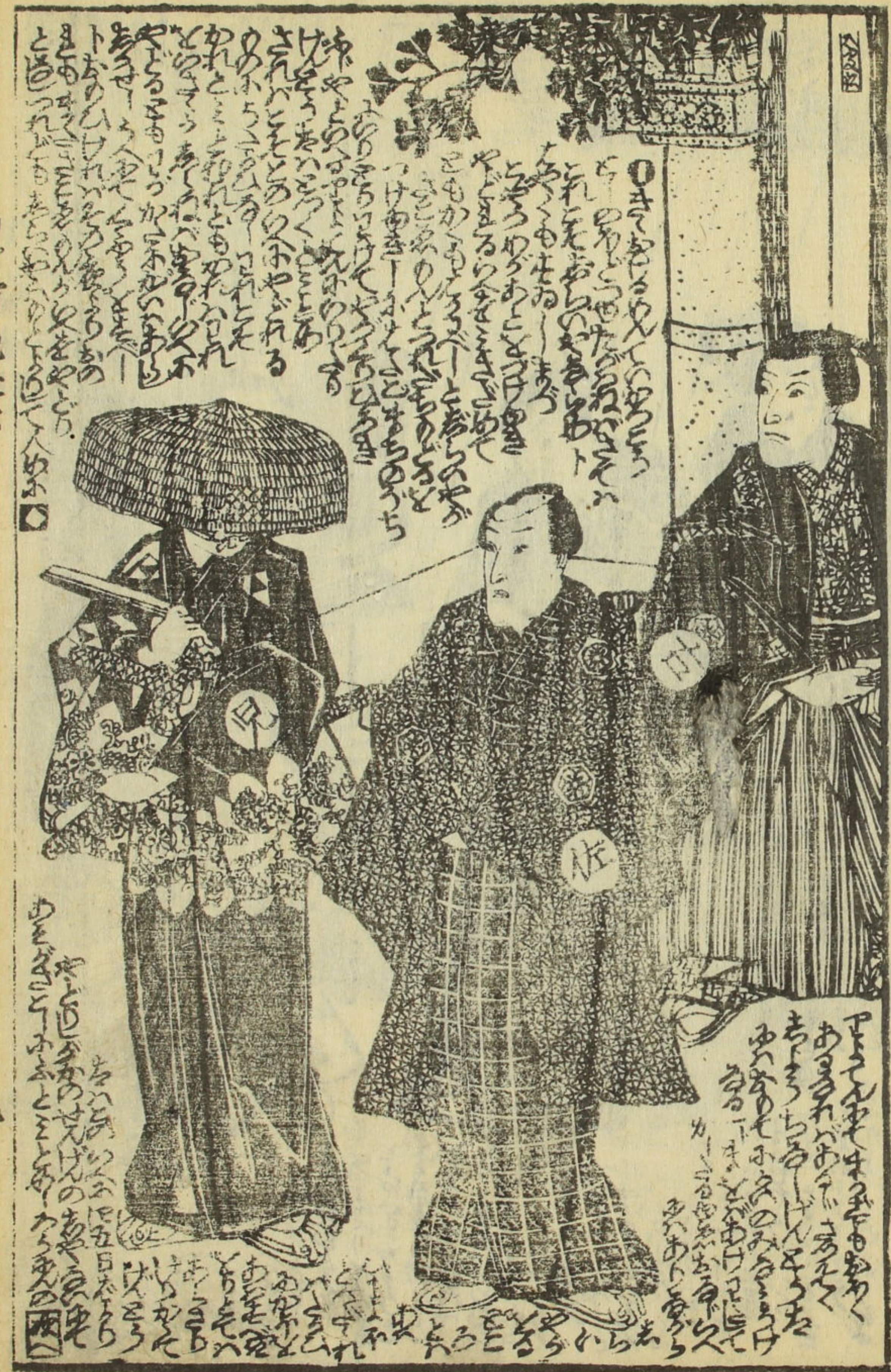
Vertical text on the left margin of the first page.

Small vertical text at the bottom left of the first page.



Vertical text on the left margin of the second page.

Vertical text at the bottom left of the second page.



児雷也丸

種員作



禁方 玉壺生肌膏 一頁卅六孔
 金瘡 奇功紙 一枚
 即愈
 製菜所 新嘉坡 玉樓
 取次所 真乳山 柳下亭

國輝画

一 児雷也豪傑譚

四拾七篇

二 休草紙

拾五篇

一 風俗淺問嶽

拾四篇

一 黃金水大盡盃

拾七篇

書肆 地本 問屋

芝神明前 和泉屋 市兵衛

銀座四丁目 同支店

